

(9) 5大学による教育連携

平成 8 年に始まった山形大学、徳島大学、愛媛大学、群馬大学それに熊本大学による教育・研究交流活動の一環として、平成 16 年度から途切れることなく続いている5大学連携教育シンポジウムは、今回(第 16 回)は、群馬大学を会場に、開催された。工学部では授業改善・FD委員会の担当行事であり、毎年度学科持ち廻りにて教員・学生を派遣している。令和元年度は、新学科体制として機械数理工学科(旧機械工学科・旧数理工学科)担当で、藤原教授(機械)・城本教授(数理)および学部学生1名・大学院生1名が出席し、それぞれのテーマについて発表を行った。また、次年度(令和 2 年度)は熊本大学が当番校であることから、事前視察のために小島総務係長が同行し、次年度開催に向けての情報収集を行った。

以下に、群馬大会場で開催された本シンポジウムのプログラムを示す。

令和元年度 5大学連携教育シンポジウムプログラム

日 時：令和元年 9 月 19 日(木)・20 日(金)

会 場：群馬大学理工学部・総合研究棟 5 階 502 教室(桐生市天神町 1-5-1)

9月19日(木) 第1日目 : 15:00~17:00

(1) 15:00~15:20 開会式(502 教室) 司会 山延 健(群馬大学)

○開会の挨拶 群馬大学副理工学部長

(2) 15:20~17:00 セッションA(学生発表、502 教室)

○テーマ：「大学生活を通じて自分が得たもの」 司会 遠藤 昌敏(山形大学)

・熊本大学 15:20-15:40 (〔発表8分、質問2分〕×2人)

A-1 「熊本地震から見えてくる情報問題」

石本 智昭(熊本大学工学部数理工学科 B4)

A-2 「IJEP を通した英語学習について」

今村 浩二(熊本大学自然科学教育部博士前期課程機械数理工学専攻 M1)

・徳島大学 15:40-16:00 (〔発表8分、質問2分〕×2人)

A-3 「阿波電鉄プロジェクトを通して得たもの」

萩原 孝紀(徳島大学理工学部理工学科機械科学コース B3)

A-4 「アウトプットの重要性」

森山 優斗(徳島大学理工学部理工学科電気電子システムコース B3)

・愛媛大学 16:00-16:20 (〔発表8分、質問2分〕×2人)

A-5 「大学生活が私に与えたこと」

土屋 輝記(愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻機械工学コース M2)

A-6 「インドネシア学生との交流から得られたこと」

猿丸 英理(愛媛大学大学院理工学研究科物質生命工学専攻機能材料工学コース M2)

・山形大学 16:20-16:40 (〔発表8分、質問2分〕×2人)

A-7 「客観的視点の獲得と将来への準備」

濱田 文花 (山形大学理工学研究科応用生命システム工学専攻 M2)

A-8 「「なんとなく、とりあえず」やる。」

畑 正哉 (山形大学工学部応用生命システム工学科 B4)

・群馬大学 16:40-17:00 (〔発表8分、質問2分〕×2人)

A-9 「Global Frontier Leader として」

千葉 秋日花 (理工学部化学・生物化学科 B3)

A-10 「留学体験とこれから」

富士田 玲 (理工学部環境創生理工学科社会基盤・防災コース B3)

セッションA終了後 記念撮影

(3) 17:30-19:00 懇親会 (桐園)

(会費: 教職員3,000円、学生1,000円)

群馬大学副理工学府長 挨拶 司会 古畑 朋彦 (群馬大学)

9月20日(金) 第2日目 : 9:00~14:25

(4) 9:00~10:15 セッションB (教員発表、502教室)

○テーマ: 「文理横断的・異分野融合的な教育について」

司会 板垣 吉晃 (愛媛大学)

・熊本大学 9:00-9:15 (講演12分、質疑3分)

B-1 「機械のPBL授業を通じた療育分野での協働」

藤原 和人 (熊本大学先端科学研究部産業基盤部門機械システム設計分野 教授)

・徳島大学 9:15-9:30 (講演12分、質疑3分)

B-2 「実践力養成型 (寺子屋式) インターンシップによる学生への教育的効果」

浮田 浩行 (徳島大学大学院社会産業理工学研究部理工学域機械科学系 講師)

・山形大学 9:30-9:45 (講演12分、質疑3分)

B-3 「文理横断的・異分野融合的な教育について—山形大学大学院における取組—」

遠藤 昌敏 (山形大学理工学研究科 教授)

・愛媛大学 9:45-10:00 (講演12分、質疑3分)

B-4 「「工学共通基礎科目」—愛大工学部工学科の取組み—」

朝日 剛 (愛媛大学大学院理工学研究科物質生命工学専攻物性化学 教授)

・群馬大学 10:00-10:15 (講演12分、質疑3分)

B-5 「群馬大学でのデータサイエンス教育の取組み」

浅尾 高行 (群馬大学数理データ科学教育研究センター 教授)

(休憩10分)

(5) 10:25~11:20 特別講演 (502教室) 司会 山延 健 (群馬大学)

○テーマ: 「**教学 IR の推進—群馬大学の事例から**」

講演者: 群馬大学大学教育・学生支援機構教育改革推進室 准教授 二宮 祐

(休憩10分)

(6) 11:30～12:20 ランチミーティング

○5大学担当者会議 (506教室) 司会 古畑 朋彦 (群馬大学)

○学生 (学生食堂) 司会 (群馬大学学生)

(休憩5分)

(7) 12:25～13:40 セッションC (学生ワークショップ、301教室)

セッションD (教員セッション、502教室)

○学生ワークショップ

テーマ:「次の時代を創るために、どういった力が必要なのか。」

司会 飯島 睦美, 中沢 信明 (群馬大学)

○教員セッション

テーマ:「これからの語学教育について」

司会 藤原 和人 (熊本大学)

・群馬大学 12:25-12:40 (説明7分、質疑8分)

D-1 「Addressing English Needs through an Integrated Project-based Course」

サンプソン リチャード (群馬大学大学教育・学生支援機構大学教育センター 准教授)

・熊本大学 12:40-12:55 (説明7分、質疑8分)

D-2 「熊本大学工学部の英語教育のこれまでとこれから」

城本 啓介 (熊本大学先端科学研究部産業基盤部門応用数理解析分野 教授)

・山形大学 12:55-13:10 (説明7分、質疑8分)

D-3 「これからの語学教育～工学部一教員の雑感～」

湯浅 哲也 (山形大学理工学研究科 教授)

・徳島大学 13:10-13:25 (説明7分、質疑8分)

D-4 「『大学だから』できる語学教育～徳島大学の事例」

橋本 智 (徳島大学高等教育研究センター 教授)

・愛媛大学 13:25-13:40 (説明7分、質疑8分)

D-5 「技術コミュニケーション力の高い人材育成をめざして」

坂垣 吉晃 (愛媛大学大学院理工学研究科物質生命工学専攻材料開発工学 教授)

(休憩10分)

(8) 13:50～14:15 セッションE (502教室)

○テーマ:「**報告と総括**」 司会 浮田 浩行 (徳島大学)

学生ワークショップの報告 13:50-14:05 飯島 睦美 (群馬大学)

本シンポジウムの総括 14:05-14:15 古畑 朋彦 (群馬大学)

(9) 14:15～14:25 閉会式 (502教室) 司会 山延 健 (群馬大学)

○閉会の挨拶 (群馬大学理工学部長)

○次期開催大学挨拶 (熊本大学)

本シンポジウムの詳細は別冊の「令和元年度 5大学連携教育シンポジウム」報告書にて紹介されている。